

『最新社会福祉学研究』 執筆規程・執筆要領

I. 執筆規程

1. 投稿者は原則として吉備国際大学及び九州保健福祉大学の社会福祉学研究科，通信制社会福祉学研究科の教員，大学院修了生及び大学院生とする．これ以外の投稿については編集委員会の決定による．
2. 本誌には，原著論文，事例研究，資料，ショートノート(短報)，及び修士論文・博士論文の概要，ならびに，研究科が主催する講演会要録などの欄を設ける．原著論文，事例研究，資料，ショートノート(短報)は原則として自由投稿とし，修士論文・博士論文の概要と研究科主催の講演会要録などは，編集委員会が執筆依頼を行う．
3. 投稿原稿は，未発表のものに限り，二重投稿は認めない．もし同じデータ，事例，資料等に基づいて投稿者が執筆した別の論文，報告書等(共同執筆も含む)があれば，投稿時に添付すること．
4. 投稿原稿の掲載の可否は，レフェリーの査読報告に基づいて編集委員会が決定する．
5. 投稿原稿は別に定める執筆要領にしたがって作成すること．
6. 初稿・改訂稿は，コピーを4部編集委員会に提出すること．
査読結果に基づき，投稿者が加筆・修正した改訂稿についてレフェリーの再確認が必要な場合，投稿者は加筆・修正箇所についての簡潔な説明を添えて，改訂稿とともに編集委員会に郵送すること．
掲載決定後の確定稿は，コピー2部とCD-RW版とを編集委員会に提出すること．
7. 投稿原稿の提出期限は，8月31日(金)(必着)とする．
8. 投稿原稿および電子ファイル・電子媒体は，採否にかかわらず返却しない．
9. 掲載原稿の執筆者校正は初校までとする．校正時の加筆・修正を含む改訂は認めない．
10. 原稿料は支給しない．原稿が掲載された者(第一著者)には一編につき別刷りを30部贈呈する．

(別紙1)

II. 執筆要領

本誌への投稿原稿は以下の要領で作成すること。

1. 原則として WORD 文書により作成し、縦置き A4 判用紙に横書きで、1 ページにつき約 1,200 字とする。

(WORD 標準：A4, 40 字×30 行/ページ, 余白上 35mm・左右下 30mm 程度, 文字サイズ 10.5~11 ポイント, 明朝体)

2. 投稿原稿の種類は、原著論文、事例研究、資料、ショートノートのいずれかとする。(※それぞれの種類については、別途最終行に説明あり)。

3. 投稿原稿の長さは、原著論文は 20,000 字、事例研究と資料は 10,000 字、ショートノートは 4,000 字を上限とする。図表は 1 点につき 600 字換算とし、図表込みで字数制限を厳守すること。ただし 1 頁全体を使用する図表については 1,600 字に換算する。

英文原稿の場合は、A4 用紙にダブルスペース（1 枚 28 行、1 行 10~15 単語）で 25 枚以内（図表を含む）とする。

4. 投稿に際しては、原稿に 2 枚の表紙をつけ、3 枚目以降の本文にはタイトル（英文タイトル併記）のみを記載し、投稿者の氏名や所属は記載しないこと。

- (1) 表紙の 1 枚目には、①タイトルと英文タイトル、②原稿の種類、③著者全員の氏名、所属、修了生は課程と修了年、院生は課程と学年、第 1 著者の連絡先（住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス）を記入する。

- (2) 表紙の 2 枚目（無記名）には、①タイトルと英文タイトル、②原稿の種類、③和文アブストラクト（400 字以内）と英文アブストラクト（200 語以内）、④キーワード 3~5 語と英文キーワード 3~5 語を記入する。ただし、ショートノートはアブストラクト不要。

5. 文章の形式は、口語体（である調）、常用漢字を用いた新仮名づかいを原則とする。

6. 投稿論文の査読は、著者名等を匿名にして行うため、文献等の表記の際には、本人の著であっても「筆者」「拙著」等とせず、筆者名による表記とすること。

7. 投稿原稿に利用したデータや事例等については、倫理上手続きが必要な原稿はその手続きを経ていることを本文または注に明記すること。

8. 表や図は、表 1、図 1 のように番号をつけ、図表のタイトル・出典とともに、本文中の適切な箇所に挿入する。引用文献は、邦文、欧文を含め、注のあとにまとめてアルファベット順に記載する。著者、（出版年）、論文名、雑誌名、巻、号、頁の順に書く。

注は文中の該当箇所に(1)、(2)・・・と表記し、論文原稿末尾にまとめて記載すること。引用文献や注などの記述形式の詳細については、「日本社会福祉学会機関誌『社会福祉学』投稿規定[引用法]」による。<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jssw/pages/policy.htm> 参照。

※ 投稿原稿の種類について：

原著論文とは、独創性に富む研究で、それ自体独立して学術的な価値のある論考、検証、結論、知見を含むもの。

事例研究とは、具体的な事例についての調査から得られたな実践的な知見や考察をまとめたもの。

資料とは、独立した結論には至らないものの、価値ある新しい事実を含む内容を記述しているもの。

ショートノート(短報)とは、原著論文として完結するまでには至っていないが、斬新な研究の視座、問題提起、あるいは研究手法等を提示するもの。